

2月2日 あいさつで元気に

今日は、他の先生方や地域の人から聞いてうれしかったことをもとにお話しします。

はじめは、朝、玄関に立っていた副校長先生から聞いたお話です。先週は5年生が玄関でのあいさつ当番をしていていました。そのときの5年生が、とても元気な声であいさつをしていたので、登校するみんなのあいさつの声が大きくなり、元気になっていったということです。5年生の元気なあいさつで、みんなが元気になったというのは、とても素敵なことです。今週は、4年生があいさつ当番になりますが、朝からあいさつで、元気になるといいですね。



次は、地域の方から聞いたお話です。地域の方が千束通りを自動車で走っていた時、横断歩道に小学生がいたそうです。自動車を運転している人は、横断歩道に人がいたら止まらなければならないので、小学生が渡るのを待っていたら、小学生が「ペこり」とお辞儀をしてくれたということなのです。横断歩道で止まる



という当たり前のことをしただけなのに、「止まってくれてありがとう」という気持ちが伝わってきて、とてもうれしく感じたそうです。「こんな素晴らしい小学生がいる浅草の町は、素晴らしい町だと改めて感じました。」とお話しされていました。その小学生は、服装から千束小の子だったとのことです。ほんの少しのあいさつが、周りの人を笑顔にできるというのも、素敵なことです。

最後は、5年生が、ビーチボールバレーの大会で素晴らしい成績を収めたということです。この後表彰をしますが、台東区Aブロックの大会で、男女ともに優勝しました。チームの仲間同士、声を掛け合い、励まし合いながら優勝できたということは、とても素晴らしいことです。ですが、バレーボールのようなチーム



スポーツは、相手がいて成り立つものです。試合をした相手も大事にして、お互いにあいさつをして、認め合い、高め合う姿勢も大切です。これから、5年生のビーチボールバレーは、台東区の大会があります。あいさつの心、を忘れずに、がんばってほしいですね。